



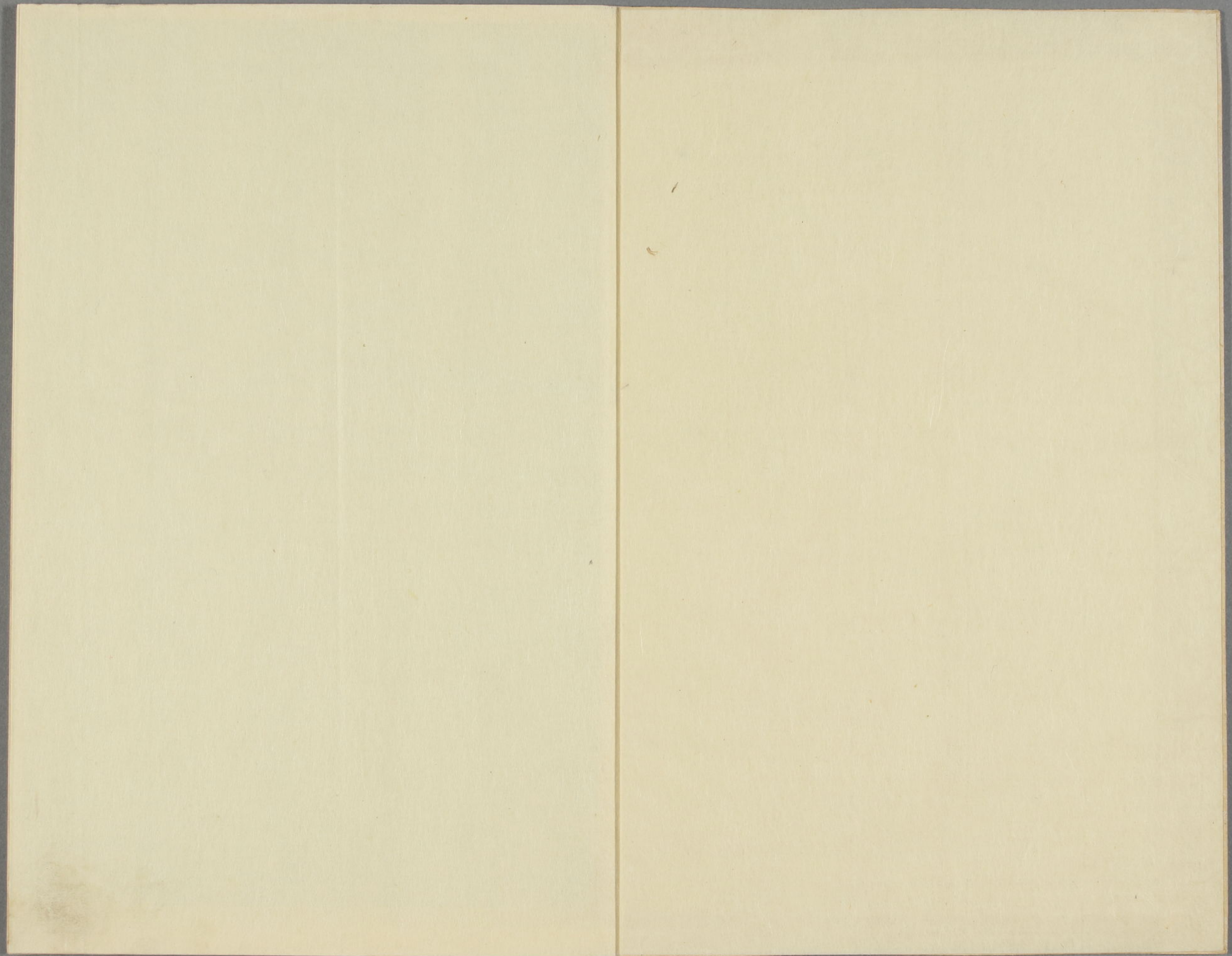
筆山伯栗香應谷

丙號

全五冊

早稲田大学図書館  
文書27  
B 84  
3







紙 達 送

局 著		局 發		名 氏 所 居 人 信 受	
受 信 當 務 者	信 受 午 三 時 分	付 受 午 一 時 分	第 一 ハ 號	夕 夕 シ キ	ヒ シ カ の テ ウ 五
	一 字	一 分	日	報 指	
ス レ セ			事 記		
コ ウ フ エ ヲ			注 意		
コ ウ フ エ ヲ			他 人 宛 たる 電 報 の 配 達 を 受 け た る 者 は 其 由 を 付 箋 直 ち 之 を 配 達 した る 電 信 局 所 に 返 戻 す べ し 決 して 其 受 取 本 人 へ 直 送 し 又 は 手 渡 し ず べ し 決 して 其 受		
コ ウ フ エ ヲ			番 著 信 第 九 號		
コ ウ フ エ ヲ			名 氏 所 居 人 信 受		
コ ウ フ エ ヲ			ヤ シ マ バ キ カ 4		
コ ウ フ エ ヲ			印 附 日 局 著		

明治三十八年正月

日本海戰捷報  
樺山伯公  
東御大將  
此後電報

二十九年五月二十九日板州湯河原温泉に於て  
榊山大磯より發信し電報を接す

開戦大勝利萬歳 榊山

伊東方面宮島五月二十九日午後九時十五  
分大磯發

東郷大勝利萬歳大白と答ふ所あり

宮島

榊山伯大磯五月二十九日午後十時の湯河  
原發

發電故直ぐ一〇分後と認め榊山伯

寄送中

科少一昨、大城海軍は日行非常之  
鯨濤高潮觀、亦在二杉庵、於此特  
弟之五、繼應、歲下波艦隊、目之、若初  
水、繼、淡、い、た、一、昨、廿、一、湯、河、原、水、海、軍、使  
然、一、波、い、ち、連、動、は、故、柄、入、り、梅、屋  
腰、脚、を、伸、い、し、就、後、に、交、り、電、報  
に、接、し、海、軍、大、將、利、萬、年、祥、山、  
い、ち、電、報、東、郷、大、  
勝利萬歲大白と譽る、頃、と、此、と

東橋原製

考、之、周、造、を、呼、び、起、し、大、杯、を、傾、け、  
大、祝、東、郷、大、將、并、祥、山、老、大、將、萬、  
歲、と、連、呼、し、也

皇帝陛下之隆運を奉祝す、却て白  
想、其、の、東、郷、大、將、之、去、る、二、月、に、再、征  
に、臨、み、我、の、軍、艦、を、防、り、北、西、方、に、  
時、向、回、答、之、書、を、致、す、諸、君、等、に、  
謹、書、戦、局、未、決、な、れ、今、後、之、終、結、出  
待、た、下、度、也

明治三十八年二月六日東郷平八郎

宮島滅命後

僅に教文字中精神氣節道途を  
含み敵艦百千一撃も重鎮沈み  
暗死目眩有り而も表數月間用者  
周到に機謀諳熟に場合も際し  
料んや速急に我海防嚴密に對  
馬海峡内に入り来り主力を試ん  
智あり策ありに在り滅法男に所  
作あり神州に自出する處大陽一照  
燿火滅つる前者之言一大白し

東洋日報

祀敵に因る如し、少なりしに明日海戦  
形況も詳悉の五成先づは海軍の  
任に據り山伯萬歲明治廿八年正月廿九  
日夜三時三十分宮島滅命拜也  
は際境死活治但し臨時婚共、軍  
凡舞進退の場もあらず何れも志は

七五

湯河原の奉天遼陽黑龍江を以て負  
傷者五百四十餘人塔子溝結果略七  
全隊八十餘人出た如也

樺山伯白大藏來翰

如讀而素竟然水清治之加也在于  
物自然亦快安之如赴之于蒸氣之傳  
古今維多之海戰之捷先報電報  
而道志之此迷之近電之快且亦亦  
裡書之於有義仕言語之於西兵助  
之偉業振奮如初唯壯魄快地之  
外世之世之德之快報之昭之今滿  
之指合以上之四種隊力之強隊也

東洋原

既之大計畫也之之彼の為の快優  
勢之亦亦中如之之彼の為の快優  
男之強之也陸海軍之強之也  
之之戰局之之其目的之也之也  
為之國家之大白之揚之可祝之也  
歌之強隊之行動大之強剛毅之也  
之之強隊之也之也之也之也  
之之強隊之也之也之也之也  
之之強隊之也之也之也之也  
之之強隊之也之也之也之也  
之之強隊之也之也之也之也  
之之強隊之也之也之也之也  
之之強隊之也之也之也之也



河天佑此輩之能、我馳逐疆  
外、謀彼水雷、獲一七程分、  
該處、川、侯、任務、行、動、改、在、  
、捕、害、山、水、者、及、角、或、以、是、置、道、以、  
、捕、害、者、以、其、年、必、說、此、在、將、其、  
確、報、捕、者、中、兇、角、戰、況、を、観、  
、多、く、は、彼、に、未、初、不、規、律、の、  
、以、新、發、察、北、中、新、少、第、上、  
、知、少、計、の、事、を、信、之、所、事、任、  
、海、邊、之、州、に、敢、也、

東志異記

五月二十一日

資紀

西來系大元

務

其の、事、を、新、報、中、以、て、受、止、  
、事、を、西、心、に、  
、

東郷將軍に、祝電、た、通、打、電、  
、改、電、

敵、跡、全、滅、得、功、古、今、純、無、鬼、  
、神、を、泣、り、し、也、

伊世保聯合艦隊司令長官

東郷大將

偉大なる戦功を祝す

東京 官島誠平

鄭重に祝電を感謝す

伊世保六月二日

東郷大將

以上は復書宛并電報

己巳六月廿日

誠平手抄



東京官島

拝書日露乃戦局は終結  
する平和を免後と見ふ玉り  
たりし國家の爲深く事同  
慶ふ玉り小生は然れども凡  
戦乃勝はし勝此日小勝は  
に事なりしは尚向後事なり

紙 達 送



局 著		局 發		受 信 人 居 所	
受 信 者	著 信 時 分	付 受 時 分	第 四 三 〇 號	廿 七 日	私 報 指 定
〇	午 三 〇 分	午 八 時 五 分	〇	〇	
ニ 九 字		〇 月 〇 日		ヒラカワテウ ミヤケマ セイヤイキ	
ト		テ		テ	
ヲ		イ		イ	
ゴ		フ		フ	
ウ		カ		カ	
タ		シ		シ	
イ		ヤ		ヤ	
セ		ス		ス	
ウ		ク		ク	
事 記		注 意		名 氏 所 居 人 信	
三		他人宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋し直ちに之を配達したる電信局所に返戻す(一)決して其受取本人(直送)又は手渡す(一)からず			
第 〇 號		著 信 日 附 印			
		東京 田町 郵便局			
		38-6-3			



之風雅堂之書大肝安之  
存之以致

明倫彙編年譜典卷之四

東江古

宣德元年

此而今年  
觀戰  
以厚情  
厚  
不淡

幸感謝也

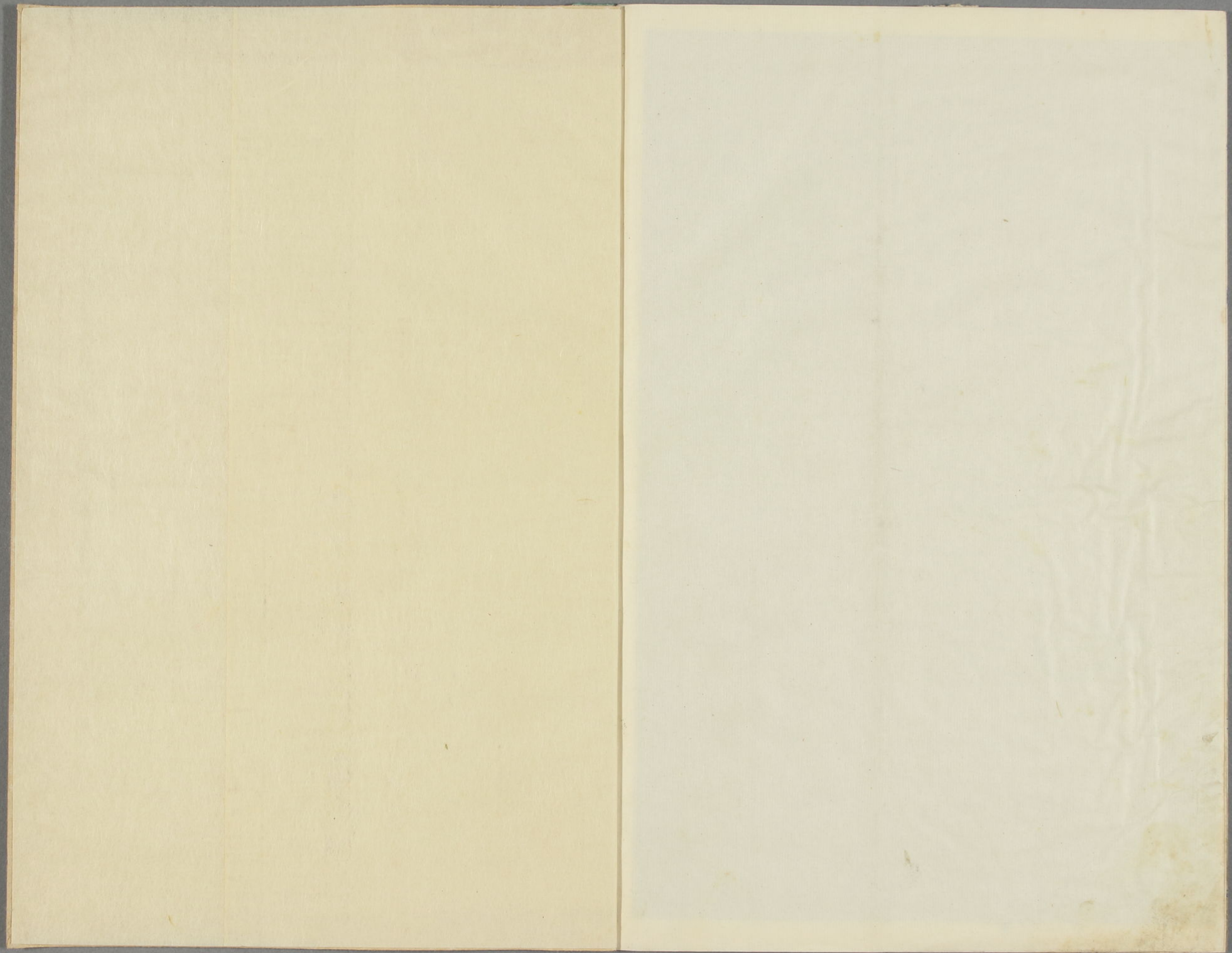
養浩堂藏書

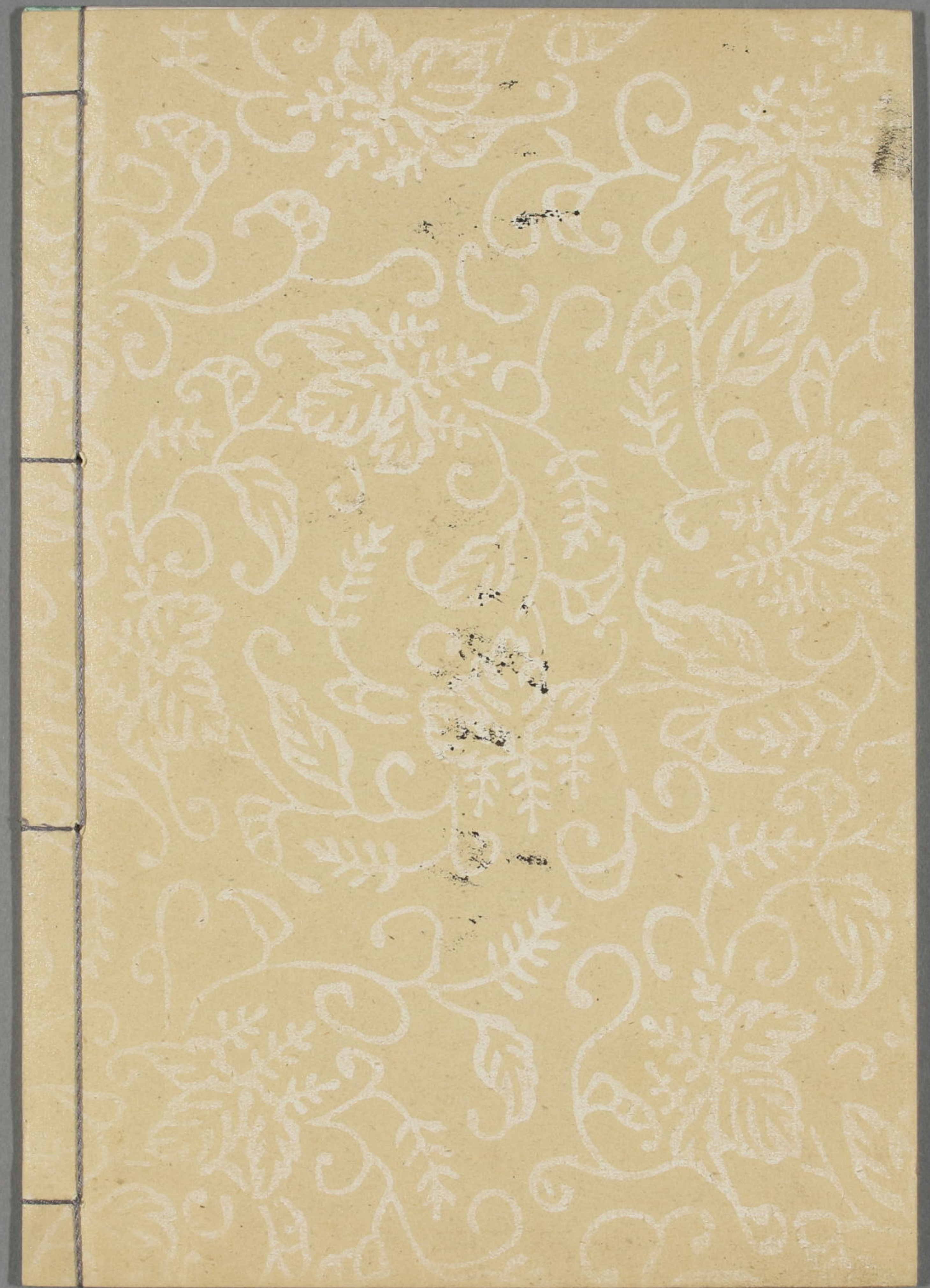
養浩堂藏書

寧陽識一印啟

以親枝

李衛印





庚子



相公明身蓋矣帝新擢也遂於  
今年意外之味遊之打也去年者  
怒之方秋上之當時氣事中之廟  
涼風之掃是改滿洲之為魂也一掃  
秋之變果哉大乃揚西城德和  
寺着之疾進之也遼陽沙河也  
占欲奉天之大捷也之博之也  
古序世界之歷史也之在創始也  
勳業也也也也也也也也也也也

山將軍大哉列強拭目之凝視也  
大日本國之先輝煌也之教統也南  
洲有之曾之精神也日華其見氣  
節凌霜天地知之大書也之古人之詩  
也也也也也也也也也也也也也也也  
寫之也也也也也也也也也也也也  
者亦未也也也也也也也也也也也  
障之也也也也也也也也也也也也  
障之中也也也也也也也也也也也





